学校番号	306

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説世界史』（山川出版社）						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー二十三訂版』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は、文明の誕生から現代まで、世界の歴史を学ぶ科目です。今私たちが生きる世界がどのように造られてきたのか、それを学ぶことで現代の世界が抱える諸課題について理解し、深く考えることのできる豊かな人間性を養います。

世界史の舞台となる世界は広く、時間は雄大です。常に時間・空間の関係を意識しながら、その時を生きていた人々の目線に立つことで、ただの暗記事項ではない人類のストーリーを楽しんでください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育むことをめざす。

・世界各地の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・世界各地の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を育む。

・世界各地の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を育むとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにしている	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしようとしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとするとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	第 12 章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	a:産業革命及び環大西洋革命の過程やその要点を理解している。 b: 産業革命及び環大西洋革命が互いに与えた影響などを考察・表現することができる。 c: 産業革命及び環大西洋革命について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

1学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a:19 世紀の国民国家形成について適切に理解している。 b:19 世紀の国民国家形成の動きが世界にどのような影響を与えたのかを考察・表現することができる。 c:19 世紀の国民国家形成について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	a:19 世紀のアジア諸地域の動揺を適切に理解している。 b:19 世紀のヨーロッパでの変遷とアジア諸地域での変遷がどのように関係しているかを考察・表現することができる。 c: 19世紀のアジア諸地域の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

2学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	a:帝国主義とアジアの民族運動について適切に理解している。 b:ヨーロッパで帝国主義が生まれる過程や帝国主義がその後の世界にもたらした動きを資料などから考察・表現することができる。 c:帝国主義とアジアの民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 a:第一次世界大戦と世界の変容について適切に理解している。 b: 第一次世界大戦がその後の人類にどのような影響を与えたのか資料などから考察・表現することができる。 c: 第一次世界大戦と世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

2学期	第Ⅳ部 地球世界の課題	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	a: 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について適切に理解している。 b:第一次世界大戦後の国際秩序からどのようにして第二次世界大戦が起こったのかを考察・表現することができる。 c: 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	a: 冷戦と第三世界の台頭について適切に理解している。 b:冷戦の構造を正しく理解しながら戦後世界の枠組みがどのように形成されたのかを考察・表現することができる。 c: 冷戦と第三世界の台頭について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

3学期	第Ⅳ部　地球世界の課題	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	a: 冷戦の終結と今日の世界について適切に理解している。 b:現在に残る諸問題がどのようにして今日に至り、現代の世界に影響を与えているのかを考察・表現することができる。 c: 冷戦の終結と今日の世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度